

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	50 熊本駅周辺地域の都市機能強化の推進（交通拠点連携集中支援）		
計画の期間	平成30年度～平成30年度（1年間）	交付対象	熊本県
計画の目標			

J R鹿児島本線及び豊肥本線を高架化することにより、交通渋滞の原因となっている踏切を除却するとともに、鉄道により分断された東西市街地の一体化を図り熊本駅周辺地域の都市機能強化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

熊本駅周辺地域を分断している鹿児島本線6.1km、豊肥本線1kmを高架化することにより踏切15箇所を除却する。

定量的指標の定義及び算定式

- ① 計画区間のうち、鉄道高架により東西市街地の一体的整備が可能となる区間を分断解消率で表す。
 （分断解消率） = （高架完了延長） ÷ （高架計画延長） × 100
- ② 鉄道高架により除却した踏切数
 （踏切除却数） = （既除却踏切数） + （除却踏切数）

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H30当初)	最終目標値 (H30当初)
100%	100%	100%
15箇所	15箇所	15箇所

備考

平成29年度高架切替が完了となるため、目標値は全て100%となる。

全体事業費	合計 (A+B+C)	700百万円	A	700百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	--------	---	--------	---	------	---	------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
熊本県において評価を実施	令和2年9月
	公表の方法
	熊本県ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業												全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
											H30	R1	R2	R3	R4		
50-A-1	街路	一般	熊本県	直接	熊本県	S街路	改築	J R鹿児島本線外1線	連続立体 L=7.10km	熊本市						700	
合計																700	
B 関連社会資本整備事業												全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）							
											H30	R1	R2	R3	R4		
合計																	
C 効果促進事業												全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）							
											H30	R1	R2	R3	R4		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道高架化により踏切が除却され、最大600mあった踏切による渋滞が解消された。 ・鉄道高架化により新たに生み出された高架下空間の利活用が可能となり、一体的なまちづくりを促進。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① (鉄道による分 断解消率)	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標② (除却踏切数)	最終目標値	15箇所	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	15箇所		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道高架化事業の進捗に伴い、熊本駅周辺の地価上昇・昼間夜間人口の増加等のストック効果が発現 			
3. 特記事項 (今後の方針等)					
平成27年3月に一部区間の高架切替を完了させ、平成30年3月に残る区間の高架切替を完了させた。これにより、平成29年度末をもって、全線高架切替が完了した。					